



O B E D I E N C E

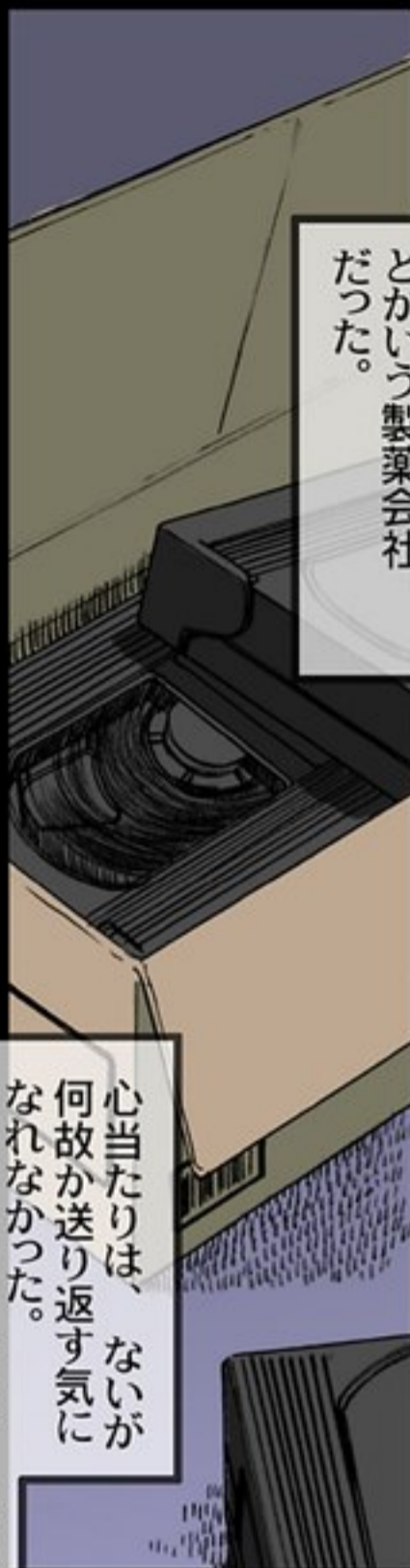
renewal all color SIDE-A

FOR ADULT ONLY

-Encounter-

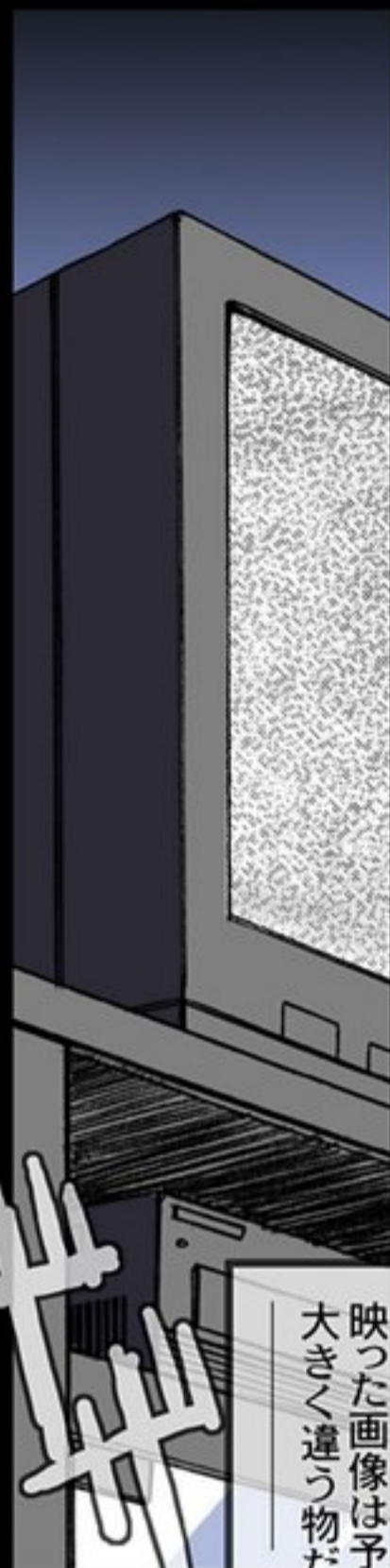


唐突にオレの手元に
ビデオが送られてきた
差出人は「アルケー」
とかいう製薬会社
だった。



心当たりは、ないが
何故か送り返す気にな
れなかった。
「一度くらい見ても
いいだろう」

そんな軽い気持ちで
ビデオをセットした。
しかし、次の瞬間
映った画像は予想と
大きく違う物だった



「……って、なんだAVかよ。しかもコスプレ物？」
……正直、拍子抜けした。見る直前、嫌な予感が……見たら引き返せない。そんな気がしたんだが……

ま、また来たの……
しつっこい子ね、君は。

だが、そんな疑念なども目の前に飛び込んできた肢体の前には、吹き飛んでしまった……。
かなりの美人。だが、それ以上にこの女が放っている「淫靡な空気」は、今までに見てきた女の中でも、極上の「牝」を匂わせていたからだ。

ふふっ、
相変わらずだね
メグ。

はあ……
はあ……
はあ……

はあ……
はあ……
はあ……

はあ……

ホントは、すっごく待ってたくせに。どうして素直に言わないかなあ。

「どうか私のアナルを存分に犯し尽くして下さい。」って。

「なんだ、このガキ？ 滅茶苦茶な事言って……まさか、こいつが相手するのとか？」
信じられなかった。こんなガキが、あの女の「メグ」の相手だとは……

これを撮った奴は、相当キレてるか、薬でもやってるに違いない。そう思った。
しかし、それ以上に自分の中から、どす黒い情欲が湧きあがってくるのを感じていた……

つて、なにを
考えてるんだオレは。
これは只のAVだろ。
ただ、ちよつと趣味が
悪いだけの……

にしても、このガキ
「いかにも手馴れてる」
つて顔してやがる。
どうしたら、こんな
!?

まあ、いいけどね。
どうせ、すぐにそんな
強がりには言えなく
なるだろうし。

なっ……!!
まっつて、それは
もう……

がちゃ

がちゃ

や、やめてっ!!
それだけは、もう許してっ
ホントにだめなのおっつ!!

いろいろ試してるけど
どうやら、メグは
これが一番お気に入り
みたいだから

……なんだアレ?
まさか……うお……
冗談だろ……
おいおいおいっ!
ウソだろ

ああっ……
だ、だめ。

ま、マジかよ?
涼しい顔してメチャ
エゲツない事しやがる
このガキ……一体!?



んじゃ、もう一ひのおっぱいにもプレゼント……っつ

ズクッ!

んっっ
んっっ
んっっ

くっっ!!



んあっ

ぷるぷる
ぷるぷる
ぷるぷる

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ



……す、すげえ……
なんて顔しやがるんだよ。
もしかして、本気で感じて
いるのか?……あんな物で
だが、とても演技とは思
えないほどメグの顔は
羞恥にまみれていた……

こ、こんな事いつまで
続けても無駄よ……
ぜっ……絶対、
後悔させて
やるんだからっ!



は……

はあ……

ぬちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ピゅ
ピゅ

さてと、今日は
どれくらい母乳を
搾り出せるかな?
久々だから、結構
絞れそうだね。

はい、はい。
抵抗してる
フリは、いいから
さっさと本音を
ぶちまけちゃって。

RR
RR



ふあっ、む、
胸、胸があっ!!
あぁあっ!!

さて、今日は
何分くらいで
イっちゃうのかな?
淫乱な
メグ姉ちゃん。

メグ

だ、誰がっ
んんんんっ!!

2分経過ー、
思ったより頑張るね
もうちよい強めに
してみようか。

こっ、こんなっ……
の……んっ、んっ……



うーん……そうだねえ
10分間耐えられたら
お家に帰してあげても
いいよ。どうせ、
無理だろうけど。



そ……んっ……

んはあっ



あっ……
あぁあっ!?



ひああああ♡

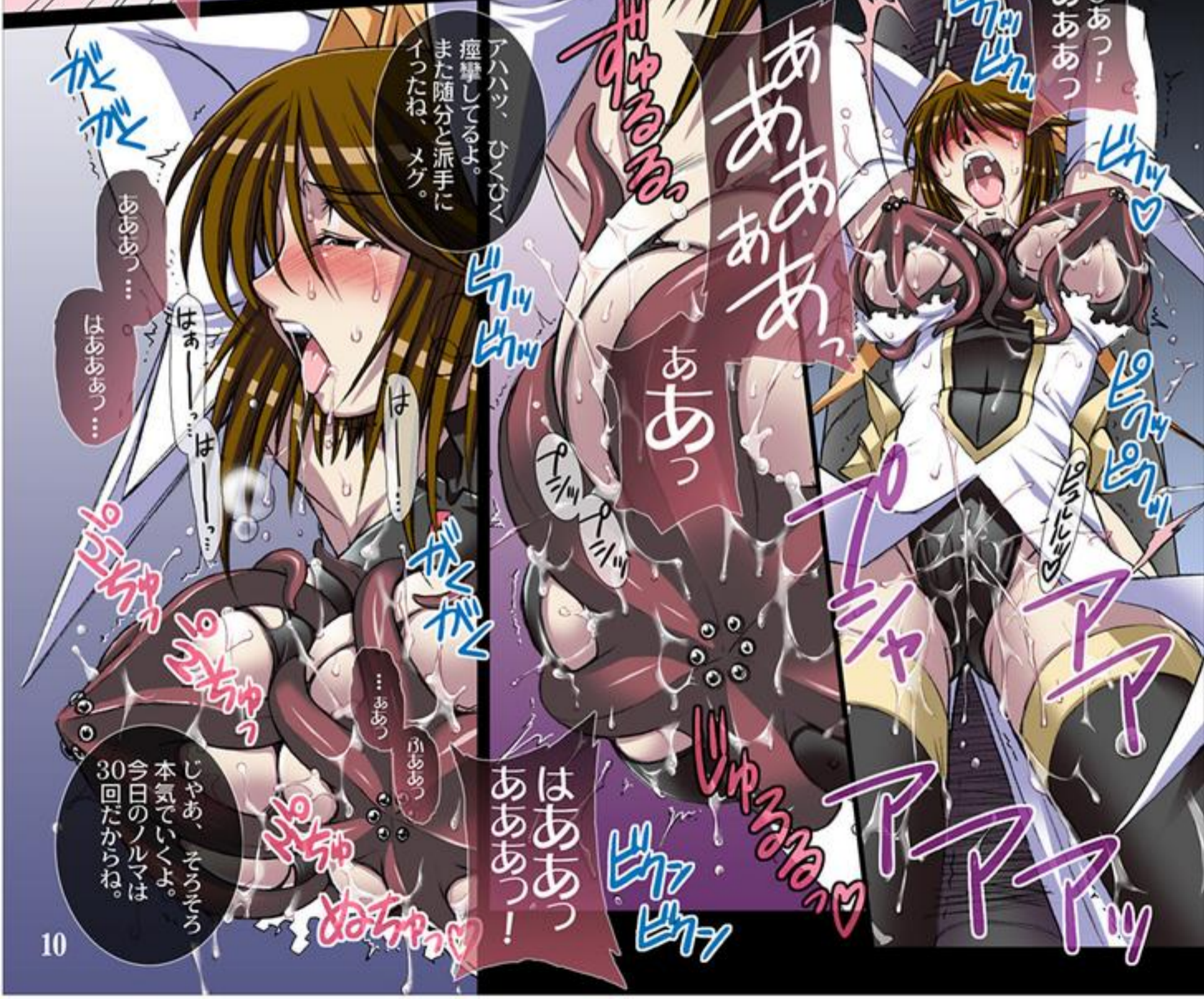
ビュッ

♡

ビュッ

ビュッ♡

ビュッ



ひあっ!
あああ♡

あああ♡

ビュッ

アハハッ、ひんひん
痙攣してるよ。
また随分と派手に
いったね、メグ。

ビュッ

あああ♡
あああ♡

ビュッ

じゃあ、そろそろ
本気でいくよ。
今日のノルマは
30回だからね。

あああ♡
あああ♡

あああ♡
あああ♡

ビュッ

ビュッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ

あーっ
あーっ
あーっ

ほ、本気で……
30回って、まさか
これを30回も
続けるのかよ……

そんなの無理に
決まってるだろ……
いくらなんでも
壊れちゃうぞ。

あーっ
あーっ
あーっ

ド
ド
ド

ひびく……

んんっ
んんっ
んんっ

んんっ
んんっ

んんっ
んんっ
んんっ

ド
ド
ド

びっくびっく……
びっくびっく……
びっくびっく……

びっくびっく……
びっくびっく……

びっくびっく……
びっくびっく……

びっくびっく……
びっくびっく……

大体、さっき言った
ばかりじゃないか。
しかも、あんなに
激しく潮まで吹いて
失神寸前だったのに

あーっ
あーっ
あーっ

んんっ
んんっ
んんっ

はあっ
はあっ
はあっ

ド
ド
ド

ざわんざわん

あぶあぶあ
アアアアアツ
アアアアアツ

あはっ
あはっ
あはっ

は……

ハアアツ
アアアツ

まあ、聞こえて
ないみたいだし。
ボクも忙しいから
そろそろ行くね。

心配しなくても、
ちやんと30回
イッたら戻って
来てあげるから。



んあつ
んあつ

んあつ
んあつ

あひっ

あひっ

そうそう、次は
ちよつと趣向を変えて
苛めてあげるから
楽しみにしててね。

じゃあね、
メグ。



アアア……

いやあ
ああああ
あああつ!!

例えようが無いほどの
怒涛の快樂の波が
メグの双乳から
襲い掛かってきた

——そして、一気に
解き放たれた、その先には

メグの頭の中が、ピンクの
ハレーション一色に染まり、
次々と押し寄せる
快樂の渦に攫われては、
戻される刺激の塊に
為すすべも無いまま……

いくら噴き出しても
止まることのない、母乳の
嵐に、メグの心が折れて
いくのが、はつきりと
わかっていった

やあ、メグ。
昨日あげたボクの
プレゼントは、
気に入ったかい？

随分、派手に
鳴いてたよねえ。
どんな具合か、
ちよつと、お尻を
見せてくれよ。

ふう…ふう…
…んんん

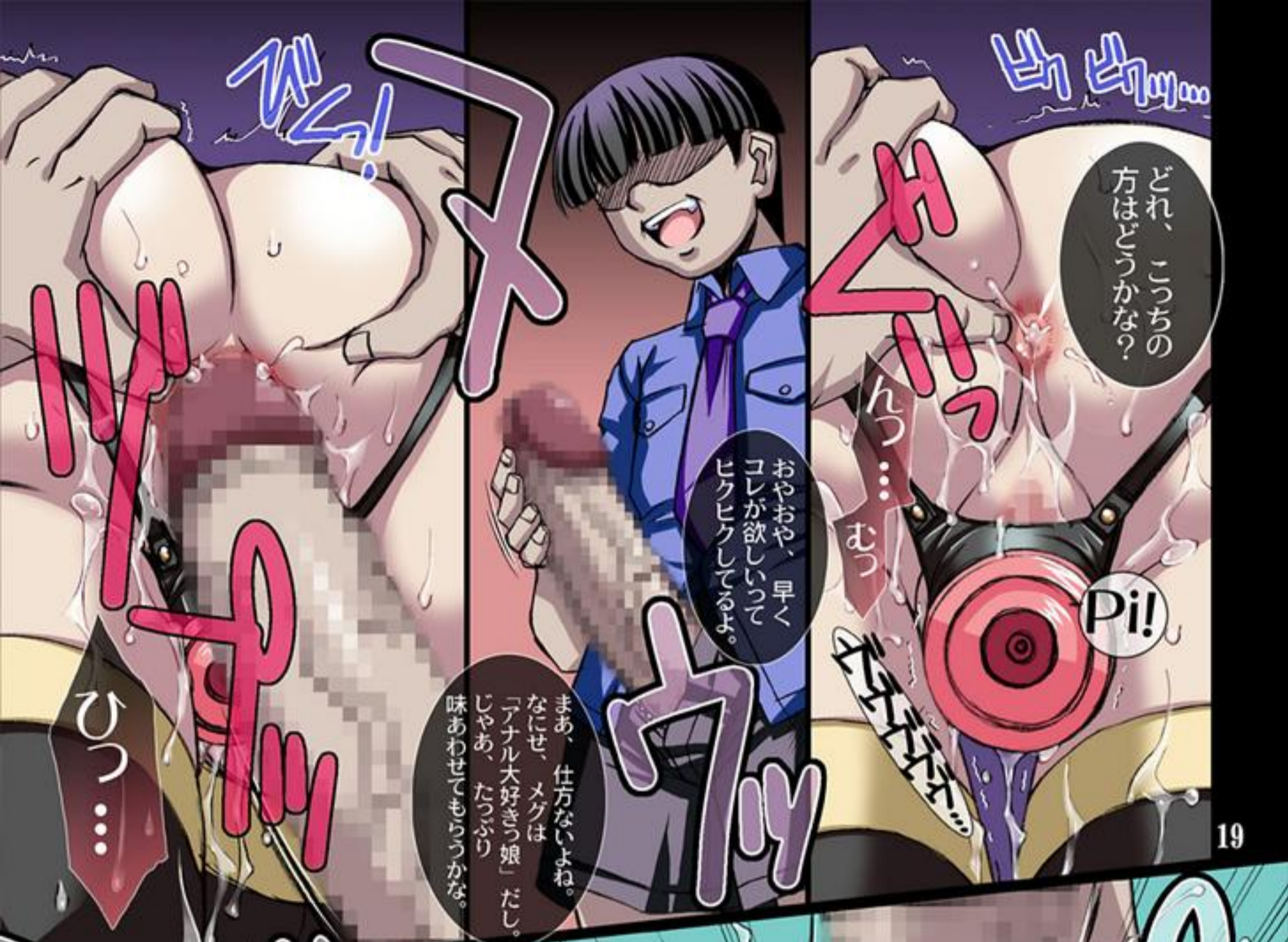
ふふっ、よく
似合ってるよメグ。
その「音声入力」式の
バイブを一日中加え
こんで、すっかり
おとなしくなったね。

そうそう、
あんまり大きな声出すと
バイブが止まらなくな
っちゃうから、
我慢しなくちゃ。

あれから、何時間
経つただろうか…
俺は、この「メグ」と
呼ばれる女の痴態に
魅入られてしまっていた。
「俺の手で犯してやりたい」
そんな衝動さえ湧くほどに…

びびる…

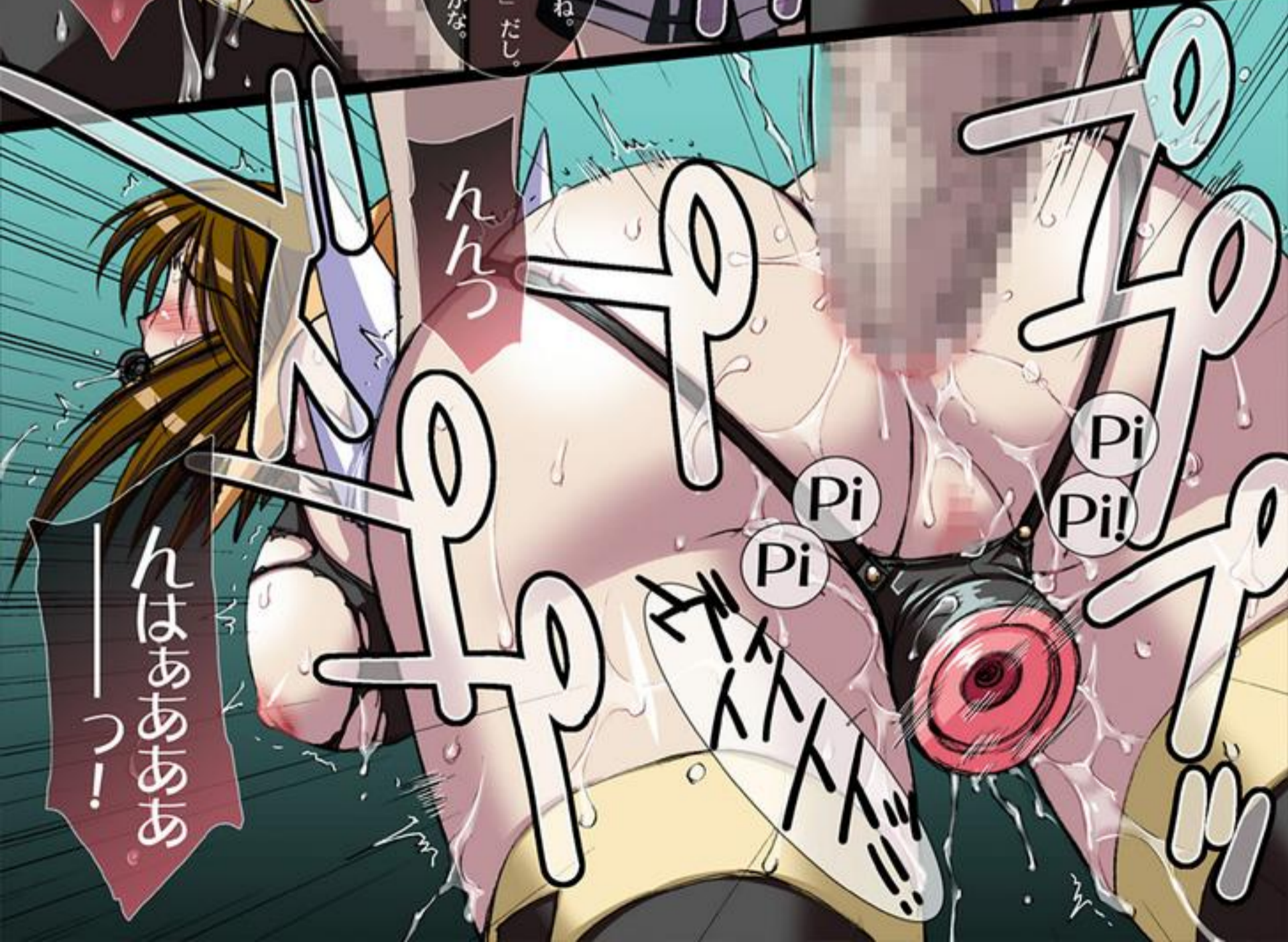
びびる…



どれ、こっちの
方はどうかな？

おやおや、早く
コレが欲しいって
ヒクヒクしてるよ。

まあ、仕方ないよね。
なにせ、メグは
「アナル大好きっ娘」だし。
じゃあ、たっぶり
味あわせてもらっかな。



んん

んはああああ
っ！

Pi
Pi!

Pi
Pi



んんんんんっ!
んっ♡んんんっ♡

んむっっっっ

んっ!

んんっ♡♡♡

んあっ

メグは幾度となく犯され、イカされまくっていた。それでも、あの小僧のモノは一瞬足りとも萎えることなく、むしろ激しさを増していった。

獣のような嬌声を上げながらもメグの顔は恍惚の表情で絶頂感を受け止めていく、それは永遠に続くかのように思えた——そして…

んっ…っ♡
んっ♡
んっ♡



ボク、なんだか急にオシッコしたくなっちゃんた。ねえ、メグ——

こここ
アナルでしても
いいよね♪

だって、スケベな
メグは精液だけじゃ
物足りないでしょ？

あははっ。
心配しなくても
わかっているって一滴も
残さずにふちまけて
あげる…よっ！

じり
んんっ
じり
んんっ

フルフル

んんっ
♡

おんおんおんおん
おんおんおんおん
おんおんおんおん

アハハハハッ！
まだまだ出るよ！
どう、うれしい？
このままメグのお腹
いっぱいになるまで
注いであげるね。

おんおんおんおん
おんおんおんおん
おんおんおんおん

んんんっ…
んんんっ…
んんんっ…

んんんっ…
んんんっ…
んんんっ…

んんんっ…
んんんっ…
んんんっ…



あゝあ、また気絶しちやったよ。全く、だらしがないなあ。ちよっと、起きなよ。ねえ、起きなつては

起きろつて、言ってるだろ！この牝豚っ！

びんびん

ギルギル

ギルギル

ホント、いつまで経っても寝がなならないんだから。しょうがないから、今回は特別だ。

そろそろ、あいつ等にも「餌」を与えななきゃいけないしね。今日はもう、ボクの相手しなくてもいいよ……

その代わりに……あとはあいつ等に可愛がってもらおうといいさ。たっぷりとね。

ギルギル

ガキがそう言うのと、
触手共は一斉に
メグに襲いかかった。
それが当然である
かのように――

カッパッパッパッパッ
カッパッパッパッ

24

あつ！

カッパッパッ
カッパッパッ
カッパッパッ

いつ……
いやああ
あああつ！！

カッパッパッ
カッパッパッ
カッパッパッ



メ…メウ、こんなのに
イカされたくないのにっ
ああっ♡だめっ♡
だめなのおおっ!!

はっ…はっ♡
やっ…、やあつ♡
またイクっ!?!
イカされちゃう♡

はっ♡はっ♡
はっ♡はっ♡

はっ♡はっ♡
はっ♡はっ♡

はっ♡はっ♡
はっ♡はっ♡
はっ♡はっ♡

はっ♡はっ♡
はっ♡はっ♡
はっ♡はっ♡

はっ♡はっ♡
はっ♡はっ♡
はっ♡はっ♡

はっ♡はっ♡
はっ♡はっ♡



はっ♡はっ♡
はっ♡はっ♡
はっ♡はっ♡

はっ♡はっ♡!!
はっ♡はっ♡!!

はっ♡はっ♡
はっ♡はっ♡
はっ♡はっ♡

はっ♡はっ♡

はっ♡はっ♡

ねえ、そこで
見る君？
君も参加しないかい？
今度、素晴らしい
イベントがあるんだ。

特典はこの
「牝奴隷」を好きに
していいって代物。
見るだけなんて
退屈だろう？

ひゃあああああ♡♡♡
メ、メグのお〇んこ♡
おま〇こ♡…♡をを！

んはっ
こ、擦れてるう♡
お尻♡…お尻があっ♡
んひいいいい！！

んはあああ♡
あ♡♡あ♡♡

なに、怖いことは
無いさ。君の欲望を
赴くまま開放してやる
だけでいいんだ…
じゃあ、待ってるよ。

そうだ…
行かないと…
俺は「仲間」に
なったのだから…
そして、思う存分
メグを鬨り尽くそう

アレは、オレの物だ。
他の奴を殺してでも
手に入れてやる。
俺の頭はもう、その事
だけでいっぱい
になっていた…

ああ♡



- あとがき -

どうもー、はじめましての方は、はじめまして。いつも読んで下さってる方は、ありがとうございます。B-RIVER です。

今回は初のフルカラー本に挑戦させてもらいました！
…いや、やると言ってたのは去年だったんですけどね (汗)
まあ、なんとか頑張っって出す事ができました！！

しかし、リニューアルと言うわりには、昔の線画をそのまま使いまわしてたりするので、完全に新作というのでもないのではですが…；

まあ、それでも追加ページなんかもあったりするので、
ここはひとつ大目に見てやってもらえるとありがたいです；

ちなみに今回の元ネタは、知ってる人は知っている
「魔法少女アイ」のメグ姉さまです。まあ、「3」に
関しては、もう皆まで言うなと言わんばかりの出来でしたが、
それでも、こっそりと作り直したりしないかなーと
心の片隅で思ってる自分がいます。

では、次のイベントは夏コミ参加だと思しますので、
猛暑の有明にてお会いできることを楽しみにしております (w)

ではでは、今回はこの辺で～。

P.S 今回もアシしてくださった、アレグロさん
ホントに助かりました！
今回の本が出せたのはアレグロさんのおかげと言っても
いいくらい、手伝っていただきホントに感謝です！！



奥付
「OBEDIENCE
renewal all color SIDE-A」

発行 / H・B
印刷 / サンライズパブリケーション (株)
hb_river@yahoo.co.jp
HP>> <http://www.palette-e.com/>

初版 2011・5・1

本作品の無断転載厳禁(ネットを含む) 及び
未成年者の購読・閲覧を禁じます。



H-B